

トヨタ紡織、「人とくるまのテクノロジー展2018」に出展

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：沼 毅）は、5月23日（水）から25日（金）にパシフィコ横浜（神奈川県横浜市）で開催される自動車技術展「人とくるまのテクノロジー展2018」に出展します。

今回は、電気自動車など次世代自動車の拡大に対応し、独自のコア技術を活用し開発したリチウムイオン電池などを展示するとともに、より快適な移動空間を実現するアイテムの数々や、環境分野の新しい技術・製品を紹介します。

1. 主な展示品

（1）次世代自動車への対応

①リチウムイオン電池【初出品】

微細繊維技術と精密プレス加工技術を用い、高い出力特性と信頼性を実現

②ハイブリッドシステム用モーターコア構成部品

（2）快適な移動空間への寄与

①LEXUS LS 搭載シート、ドアトリム

②高性能脱臭キャビンエアフィルター【初出品】

メルトブロー工法※を活用。活性炭を不織布で挟み、通気抵抗を上げずに脱臭機能を大幅に向上

※溶かした樹脂を熱風で引き延ばして繊維化すると同時に、繊維をコンベア上に積層させて不織布を製造する工法

③光ファイバー表皮【初出品】

光ファイバーを織り込み、内装部品の表皮材として魅力的な車室空間を演出

（3）環境技術

①赤外線反射内装

直射日光による内装部品の温度上昇を抑制する材料

②エアクリーナー用繊維ダクト【初出品】

エンジン吸気系部品エアクリーナーに装着するダクトの一部を樹脂から不織布へ変更し、軽量化を実現

③冷却循環水浄化システム【初出品】

独自のフィルトレーション技術を使い、高性能、省エネに貢献する冷却循環水の浄化システムの提案

2. 出展場所 ブース番号：303